

令和8年度社会福祉専門研修実施計画表

【県委託研修】

区 分		高齢・障害・社会的養護・階層別・新任職員				
研 修 名	受 講 対 象 者	予 定 定 員	研 修 日 数 開 催 予 定	研 修 の ね ら い	研 修 内 容	研 修 方 法 時 間
1 社会福祉施設 採用内定者研修	社会人未経験の 社会福祉施設採用 内定者	[高齢] [障害] [児童] [保育] 100	1日 3月頃	福祉施設等に採用 が内定している者 に対し、就業前に必要 な知識・技術及び職 業倫理等を習得さ せ、円滑な就労及び サービスの質の向上 を図る。	福祉の職場で働く心構え と社会人としてのマナー (動画配信サービスを利用 予定)	講義・演習 2H
2 社会福祉施設 新任職員研修(前期) (参加費 1日 2,500円)	経験年数1年未満 の社会福祉施設 新任職員	[各日] 100	2日 (高齢) 5/28(木) (障害・児童) 5/29(金)	福祉施設で働く新 任職員として必要な 基礎的知識や能力を 習得するとともに、 基本的な心構えや自 己の役割を理解す る。	・福祉の仕事に携わって ～先輩から～ ・対人援助と社会福祉の 視点	[各日] 講義・演習 5H
3 社会福祉施設 新任職員研修(後期) (参加費 1日 2,500円)	経験年数1年未満 の社会福祉施設 新任職員(原 則、前期を受講 した者)	[各日] 100	2日 (高齢) 11/9(月) (障害・児童) 11/10(火)	福祉専門職として の半年間を振り返 り、今後、目指すべ き職員像について考 え、自ら課題に取り 組む力を養う。	・行政説明 ・信頼されるスタッフを 目指して ・今までの自分とこれか らの自分 (全日同一内容)	[各日] 講義・演習 5H

区 分		高齢・障害・社会的養護・階層別・中堅・指導監督職員				
研 修 名	受 講 対 象 者	予 定 定 員	研 修 日 数 開 催 予 定	研 修 の ね ら い	研 修 内 容	研 修 方 法 時 間
4 社会福祉施設 中堅職員研修 (参加費 1日 2,500円)	社会福祉施設に おける経験年数 概ね3～5年程 度の中堅職員	[各日] 100	2日 (高齢) 7/14(火) (障害・児童) 7/15(水)	職場における中堅 職員としての基本 的な考え方や具体的 役割について学ぶ。	・中堅職員に求められる 役割 ・リーダーシップとコ ミュニケーション (全日同一内容)	[各日] 講義・演習 5H
5 社会福祉施設 指導監督職員研修 (参加費 1日 2,500円)	社会福祉施設(保 育所を除く)、介 護保険施設にお いて、職員に対 して指導的立場 にある職員。概 ね経験年数10年 以上。施設長職 にあるもの(責 任者等)を除く	100	1日 9/3(木)	専門性と組織性を 兼ね備えた職員の育 成を図るための基本 的な考え方や具体的 な役割について学 ぶ。	・指導者に求められる役 割 ・職場の業務改善と人材 育成	講義・演習 5H

区 分	高齢・障害・社会的養護・階層別・管理職員					
研 修 名	受 講 対 象 者	予 定 定 員	研 修 日 数 開 催 予 定	研 修 の ね ら い	研 修 内 容	研 修 方 法 時 間
6 社会福祉施設長研修 (参加費 1日 2,500円)	社会福祉施設(保育所を除く)、介護保険施設の長、事務長、法人役員	100	1日 11/30(月)	社会福祉施設の管理者として、リーダーシップを発揮するために必要な資質の向上を図る。	・社会福祉施設の人事・労務管理について	講義 3H

区 分	高齢・障害・社会的養護・業務別・高齢者福祉					
研 修 名	受 講 対 象 者	予 定 定 員	研 修 日 数 開 催 予 定	研 修 の ね ら い	研 修 内 容	研 修 方 法 時 間
7 老人福祉施設介護従事者研修 (参加費 1日 2,500円)	老人福祉施設・老人保健施設・認知症高齢者グループホームの生活(支援)相談員、看護職員、介護職員等	100	1日 9/11(金)	施設での看取りが増加する中、入居者が安心・安定した生活及びターミナル期を迎えられるよう、看取り介護やACP(アドバンス・ケア・プランニング)等の介護施設職員として必要な知識等を習得する。	看取り介護やACP等、介護施設職員にとって必要な知識について学ぶ	講義・演習 4H
8 老人福祉施設看護職員研修 (参加費 1日 2,500円)	老人福祉施設、老人保健施設等の看護職員	100	1日 9/30(水)	老人福祉施設等の看護職員の役割を理解し、専門性を発揮するための知識等を習得する。	・フィジカルアセスメントとは ・高齢者の特徴とアセスメントのポイント ・事例から学ぶ(消化器系等)	講義・演習 5H

区 分	高齢・障害・社会的養護・業務別・障害者福祉					
研 修 名	受 講 対 象 者	予 定 定 員	研 修 日 数 開 催 予 定	研 修 の ね ら い	研 修 内 容	研 修 方 法 時 間
9 障害者福祉施設支援員研修 (参加費 1日 2,500円)	障害福祉施設の支援員 (県又は県が指定する者が実施する強度行動障害支援者養成研修を受講した者を除く)	100	1日 7/21(火)	福祉施設の支援員が行動障害について理解し、障害特性に応じた対応ができるよう、支援員に対する行動障害の知識・支援手法の研修を行う。また、研修をとおして行動障害に対する支援が可能な施設の確保を図る。	・行動障害を理解し基本的な対応について学ぶ ・事例をとおして具体的な対応について学ぶ ・障害者虐待防止法の基礎知識や障害者の権利擁護について学ぶ	講義・演習 5H
10 障害児通所支援事業所等従事者研修 (参加費 1回 2,500円)	障害児入所施設、通所支援事業所及び保育所等訪問支援事業所の直接処遇職員(児童指導員、保育士等)	100	1日 6/19(金)	障害児入所施設、通所支援事業所等の児童指導員等に対し、障害児の発達支援等に関する知識・支援手法や障害児虐待の未然防止等に関する研修を行い、障害児支援が可能な施設・事業所の確保を図るとともに障害特性に応じた支援に係る質の向上と障害児虐待の防止を図る。	・障害児の発達支援について学ぶ ・障害児者の虐待防止の基礎知識や障害児者の権利擁護について学ぶ ・事例をとおして具体的な対応について学ぶ	講義・演習 2.5H

区 分		高齢・障害・社会的養護・課題別						
研 修 名	受 講 対 象 者	予 定 定 員	研 修 日 数 開 催 予 定	研 修 の ね ら い	研 修 内 容	研 修 方 法 時 間		
11 相談技術研修 (参加費 1回(2日間)2,500円)	社会福祉行政・施設(保育所を除く)、その他社会福祉関係で相談業務等に従事する職員	50	2日 10/15(木) 10/16(金)	相談業務等に従事する職員にとって必要な対人援助技術である、コミュニケーション技術を学ぶ。 また、対人援助業務のあり方や留意点等を学ぶ。	・対人援助活動におけるコミュニケーションの方法 ・コミュニケーションの基本 ・具体的な解決を目指す方法	[各 日] 講義・演習 5 H		

区 分		保育・階層別・新任職員						
研 修 名	受 講 対 象 者	予 定 定 員	研 修 日 数 開 催 予 定	研 修 の ね ら い	研 修 内 容	研 修 方 法 時 間		
12 保育所 新任保育士研修 (参加費 1日 2,500円)	経験年数1年未満の保育所、幼保連携型認定こども園、その他認定こども園、地域型保育事業及び認可外保育施設の保育士等	70	1日 6/12(金)	新任保育士として必要な基本的知識や保育士としてどのように子どもの発達を支援していくかを習得する。	・乳幼児の疾病・事故の予防と対処について ・乳幼児の発達に応じた運動遊びの大切さについて	講義・演習 5 H		

区 分		保育・階層別・中堅・指導監督職員						
研 修 名	受 講 対 象 者	予 定 定 員	研 修 日 数 開 催 予 定	研 修 の ね ら い	研 修 内 容	研 修 方 法 時 間		
13 保育所 主任保育士研修 (参加費 1日 2,500円)	保育所等主任保育士及び幼保連携型認定こども園等主幹保育教諭(未受講者を優先する)	70	2日 6/15(月) 6/22(月)	主任保育士として必要な専門知識・技術を習得し、保育所の運営管理能力の向上を図る。	組織マネジメント、人材育成、保育ICTの運用について等、職場環境の改善(人材不足対策)について学ぶ ※14 保育所長研修と同一	[各 日] 講義・演習 5 H		

区 分		保育：階層別：管理職員						
研 修 名	受 講 対 象 者	予 定 定 員	研 修 日 数 開 催 予 定	研 修 の ね ら い	研 修 内 容	研 修 方 法 時 間		
14 保育所長研修 (参加費 1日 2,500円)	保育所、幼保連携型認定こども園、その他の認定こども園、地域型保育事業及び認可外保育施設の長並びに市町村の保育行政の管理監督者	70	2日 6/15(月) 6/22(月)	保育所長として必要な専門知識・技術を習得し、保育所の運営管理能力の向上を図る。	組織マネジメント、人材育成、保育ICTの運用について等、職場環境の改善(人材不足対策)について学ぶ ※13 保育所主任保育士研修と同一	[各 日] 講義・演習 5 H		

区 分		特別研修					
研 修 名	受 講 対 象 者	予 定 定 員	研 修 日 数 開 催 予 定	研 修 の ね ら い	研 修 内 容	研 修 方 法 時 間	
15 福祉広報力アップ 研修 (参加費 1日 2,500円)	社会福祉法人、施設職員、 社会福祉協議会の広報活動を担 当するリーダー 等	50	1日 6/16(火)	社会福祉法人・福祉施 設の事業・活動や地域貢 献への取り組み、組織・ 事業運営の積極的な情報 公開・発信の広報の意義 と実践について学ぶ。	・社会福祉法人・福祉施 設等の情報発信について ・広報ツールの効果的な 活用の取り組み	講義・演習 5H	
16 メンタルヘルス 推進者研修 (参加費 1日 2,500円)	社会福祉施設 事業所内メンタ ルヘルス推進担 当職員又は担当 が予定されてい る職員、施設の 運営・管理を担 う施設長および 管理者等	[各日] 100	2日 10/19(月) 10/20(火)	心の健康作り計画の策 定、メンタルヘルス不調 者への対応、職場復帰の ための支援などメンタル ヘルス対策に必要な知識 を包括的に学ぶ。	・メンタルヘルスケア、 ストレスに関する基礎知 識 ・職場環境等の把握と改 善の方法 ・メンタルヘルス対策の 導入と留意点 ・取組状況の把握と情報 交換 (全日同一内容)	[各日] 講義・演習 3H	
17 口腔ケア研修 (参加費 1日 2,500円)	介護施設・事 業所等又は障害 者の施設・事業 所等で口腔ケア に関わる職員	100	1日 8/25(火)	要介護者・障害者の入 所施設又はサービス提供 事業所の職員を対象に、 口腔ケアに関する知識や 技術について学んでもら うことで、要介護者・障 害者の歯と口腔の機能維 持・向上に資する。	・口腔ケアの基礎知識 ・口腔機能向上訓練 ・事例で学ぶ口腔ケア ・口腔ケア実習	講義・演習 5H	

区 分		行政・業務別				
研 修 名	受 講 対 象 者	予 定 定 員	研 修 日 数 開 催 予 定	研 修 の ね ら い	研 修 内 容	研 修 方 法 時 間
18 社会福祉行政 新任職員研修	経験年数1年未満の社会福祉行政職員	50	1 日 4/23(木)	福祉行政で働く新任職員として必要な基礎的知識や能力を習得するとともに、基本的な心構えや役割についての自覚を高める。	・社会福祉の視点 ・栃木県における保健福祉行政の動向について (高齢・障害・児童)	講義 3H

区 分		行政・業務別・生活保護				
研 修 名	受 講 対 象 者	予 定 定 員	研 修 日 数 開 催 予 定	研 修 の ね ら い	研 修 内 容	研 修 方 法 時 間
19 生活保護 行政新任職員研修 1回(3日間)	福祉事務所での生活保護業務担当職員、生活困窮者自立支援事業担当職員(自立相談支援機関の相談員を含む。)、保護施設職員で経験年数1年未満の新任職員及び受講を希望する職員	[各日] 80	3 日 4/27(月) 4/28(火) 5/15(金)	生活保護法の運用や解釈、ケース事例の研究等を通して、生活保護及び生活困窮者自立支援事業担当職員として必要な法律知識等の習得を図る。	(1日目) ・保護の実施要領について (2日目) ・保護の実施要領について ・医療扶助運営要領について ・介護扶助運営要領について (3日目) ・演習・事例研究	[各日] 講義・演習 5H
20 生活保護 査察指導員研修	生活保護査察指導員及びその他受講を希望する職員	80	1 日 7/9(木)	生活保護査察指導員の職務能力の向上を図り、生活保護制度の適正な実施に資する。	・査察指導員の役割とスーパービジョンについて	講義・演習 3H

区 分		行政・業務別：母子・父子・寡婦福祉				
研 修 名	受 講 対 象 者	予 定 定 員	研 修 日 数 開 催 予 定	研 修 の ね ら い	研 修 内 容	研 修 方 法 時 間
21 母子・父子 自立支援員等研修	県及び市の母子・父子自立支援員、その他相談事業担当者等(福祉事務所の女性相談員、母子家庭等就業・自立支援センターの相談員、パルティの女性相談員及び相談事業担当者)	100	1 日 6/1(月)	ひとり親家庭は、生活費、児童の教育や進学、メンタル面など、複合的な問題を抱えているケースが多く、親子が自立した生活を行っていきけるための支援が重要となる。 ひとり親家庭の現状と支援策などの知識を習得するとともに、ひとり親に対する相談業務における具体的な事例をもとに対処法を学ぶ。	・ひとり親家庭の現状について ・離婚調停の事前・事後の対応について	講義・演習 3H